

○帝京大学 説明会の様子と生徒の感想



☆リモートで説明を聴講した生徒から帝京大学の方へのお礼と感想

2年 U.Rさん

今回の講演で、松原さんからは帝京大学の概要と入試の制度について、新井さんからは実際の学生生活の体験談を聞き、学ぶことが多くありました。

まず、松原さんのお話で帝京大学について学ぶことができました。帝京大学は日本各地にあり、総合大学の部類になります。5キャンパスあり、学生数が1番多いのは八王子キャンパスです。各キャンパスによって特徴が異なり、それぞれの良さがあると思いました。自分が一番良いと思った施設は、八王子キャンパスにあるテラコです。実際に留学生と語学を学ぶことができるのはとても良い経験になると思うからです。帝京大学の入試には、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜があります。総合型選抜は2日間の日程になっており、連続受験が可能です。募集人数が拡大されたので、合格しやすくなりました。成績による基準がなく、平等に入試が行われることも良いと思いました。他大学との併願が可能なので、幅広い進路選択ができるのではないかと感じました。総合型選抜と学校推薦型選抜は、志望理由書、調査書、面接、基礎能力適性検査で選考されます。面接は一对一の約10分間で行われます。3科目の基礎能力適性検査は、得意科目での受験が可能だという点も帝京大学ならではの点だと思いました。

新井さんから学んだことは、大学生活の流れや、高校生活でやっておいた方がよいことについてです。新井さんは、受験に対して動き出すのが遅かったとおっしゃっていたので、自分も遅くならないように準備をしていきたいと思いました。今のうちから大学に向けてしっかりと準備をして、自分が行きたい大学に行けるように頑張りたいと思いました。

2年 K.Tさん

今回の講演を松原さんのお話から帝京大学の入試特徴についてと新井さんのお話から大学生活と今すべきことについての二点に分けてまとめようと思う。

松原さんのお話で、帝京の特徴は大きく分けて三つあると分かった。一つ目は連続受験が可能ということだ。これは試験が二日以上連続で行われるのだが、それに何度受験しても良いということだ。この制度により、一発の試験で緊張などから十分に力が出せなかったというような問題がなくなり、本当の自分の力を測ってくれるのでとても良い制度だなと思った。二つ目は出願に成績の基準がないということだ。これによって誰にでも平等に試験を受けるチャンスが与えられる。成績は学校や先生によって付け方や取りやすさなども変わってくるので、他校の生徒と比べるときにズレがあるのではないかと思っていた。そのような問題がなくなるのは良いことだと思う。三つ目は他大学との併願が可能ということだ。一般受験以外では併願可能という条件はとても珍しく、有効である。また、秋に試験を行うので、共通テストの前の力試しという形で受けるのにもちょうどいい時期であるという。松原さんのお話を伺い、帝京大学の入試の特徴で知らなかった事がたくさんあった。また、他の大学にもそれぞれ特徴があると思う。そのため、まずは各大学の入試の特徴を知る事が重要だと思う。さらに今年はコロナウイルスの影響で入試の方法が変わっている大学も多いと思うので、よりタイムリーな情報を得ることも重要になってくると思った。

新井さんのお話を伺い一番印象に残っていることは、受験に向けて本格的に動き出したのが高校二年生の秋の時点で、動き出しが遅かったと話されていたことだ。自分は同じ高校二年の秋の時点で行きたい大学はある程度決まってはきたが、入試の情報や学べる内容などをあまり理解していない。コロナの影響でオープンキャンパスにも参加できず、興味のある学部の Web サイトによるオープンキャンパスの代わりとなる動画を視聴しただけである。部活を理由に一年次はあまり積極的にオープンキャンパスに参加できなかったのも、大学についての情報が不足している。そのため、自分も今からすぐにでも大学受験に向けた動き出し、まずは情報集めから始めていきたい。新井さんのお話の中で印象に残った事がもう一つある。それは、大学生活はいろいろなことにチャレンジできる機会なので、多くの方に挑戦してほしいと話されていたことだ。アルバイトやサークル活動など、大学生活でしかできないことから得られる価値観や知識などが将来役に立つと思うので、大学ではいろいろなことにチャレンジしてみようと思った。